

授業支援 for Chrome 活用事例の紹介

小学
6年生

社会

授業の中で画面転送機能を 有効的に取り入れた事例

モニタリング

画面比較

画面提示

画面発表

Win Bird 授業支援 の画面転送機能を有効的に使った授業例です。

準備

先生はWinBird授業支援を起動し、児童は授業で使うスライドを開いておきます。

導入

前授業のまとめ作業の続きのため振り返りはせず、これから実施することを再確認します。

展開

児童は調べたことをスライドに記入していきます。大型提示装置には、WinBird授業支援の **モニタリング** の画面を投影し、先生は机間指導で個別に指導しながらときどきWinBird授業支援で全体を見渡して困っている児童がいないか確認します。このとき、3列表示にして画面1つ1つを大きくして見やすくしていました。

ここで、先生が例として **画面比較** で2人の児童の画面を表示し、さらにその内容を **画面提示** で児童のタブレットに映し、2人の調べ方に違いについて説明します。

ここがPOINT！

取り込んだ課題の結果の違いを説明するときは **画面比較** がとても有効です。今回は児童2人の画面の比較でしたが、もっと多い人数の比較もできます。大型提示装置がない場面でも **画面提示** で比較した結果を児童のタブレットに映すことで、児童は手元でじっくり確認できて理解しやすいです。難しいと感じるかもしれませんが、是非チャレンジしてみてください。

活用事例公開中！



授業支援 for Chrome 活用事例の紹介

発表

まとめた内容を4名の児童に順番に発表してもらいます。このとき **画面発表** を使って先生機（大型提示装置）と児童のタブレットにも発表者の画面を映します。

ここがPOINT！

画面発表 を使うことで、児童のタブレット画面は発表者の画面に切り替わり余計なタブレット操作ができなくなるので、発表に集中して聞いてもらうことができます。

まとめ

今日の振り返りをスプレッドシートに記入してもらい、 **画面比較** で4名の児童の画面に絞り込み、さらに **画面提示** で児童のタブレットに映して、同じことを実施しても、まとめた内容や授業を通して感じたことがそれぞれ異なる点を説明しました。

実際の授業の様子

モニタリング



画面発表

